



保久良山頭に立ちて感あり

春木 一夫 ▼作家▼



登山道にて筆者

金・宝石・土地・書画骨董、何もない。何もないといふと、嘲笑されるので、

「ええ年をさらして」

金は日本銀行に預け、宝石や書画骨董は美術館に預けたる。保管や盗難に気をつかわずにすみ、必要な時に見に行けるからだ。六甲山もおれの土地だが、登りた人には、どうぞ自由にといつている」

そう答えることにしている。

「灘の一つ火」と呼ばれる神社前の灯ろうのそばに腰かけ、この付近一体がおれの土地だと思えば、それでよいではないか。どうせ不動産なんて、持つて歩けるものじやなしと、一人でうそぶいている。

紀伊路の山並みを見ながら、今年はあの辺に何回ぐらいい行つたかを数えて見る。高野山に二回、紀三井寺・那智にそれぞれ一回ぐらいかな。紀伊風土記の丘は……。おつとつと、ありやもう去年のことだ、などと思い出す。高野山へは、十月にまた行かねばならない。しかも、今度は一泊だし、それに粉河寺へも行かなければならない。

高野山といえば、「高野の仇討」を想起する。播州赤

穂で起きた事件の結末を高野山でつけるわけだ。日本最後の仇討ともいうべきもので、赤穂の事件らしく、やはり集団鬭争になつてゐる。それに、仇討本懐の時点で明治四年になつてゐたため、新律綱領の適用を受け、禁錮刑に処せられているのは、時流の変化とはいへ、誠に氣

の毒である。

粉河寺へ行くのも久し振りだ。戦犯で処刑された友人

と二人で訪れたのも、すでに三十有余年の昔となる。何

故彼はM.P.に捕えられ、異國の地で死刑に処せられねばならなかつたのか。国の命じるまま、忠実な軍人として責務を遂行した男が、敗戦後はまた国の命令で殺される。

彼は職業軍人ではなく、現役で入隊した幹部候補生だったのに……。高野の仇討と考え合わせても、國家の理不尽さに腹立たしくなる。日本国家なんて糞くらえだ。これからは、日本国家と日本社会を識別して、社会のためにがん張ろうと決意する。

それにもしても、おれが今いる処は、何故ムコの地といふのだろうか、という疑問がわいてくる。
普通の人は誰でもいうことだが、

「六甲がムコで、神功皇后が六つの甲を埋めはつたからでっせ」

いかにも物識り顔に教えてくれる。

これが大間違い。甲は甲冑の甲でヨロイ、カブトなら六胄山と書かねばならない。現に賴山陽は西宮の甲山を青山と書き直しているくらいだ。

それじやムコとは何か。吉田茂樹氏は、

「牟古首」という渡来人の任地であり、伯耆の国に武庫郡があつて、人名の移動も考えられます」

と述べているが、説得力が弱い。

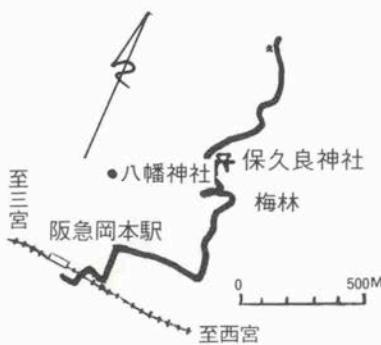
それよりも、都の向うにあるという説の方がわかり易い。賀茂真淵は、

「此地海面へさし出たる地にて、難波より向はる故に、「向」と云ふか」

と推察しているが、これは面白い。

何事でもそうだが、ことに地名・人名など、それほど深刻でないところに、眞実がありそつである。私の名前でもそうだ。一をカズと深刻ぶつて呼ぶ人が多いので、やむなくカズオにしているが、本当はイチオである。一だけなら誰でも一と呼んでくれるのにと思うのだが、社会通念というものは、げに恐ろしきものである。勝手にしゃがれといいたいのだが、そこは妥協。カズオをベンネームにしている。窮状お察し下されだ。

保久良神社



△その74▽

再度山登山口—錨山—市章山—二本松林道—猩々池—大師道—再度筋

さまよえる風景

高木 敏克 △作家▽



遊歩道として整備された二本松林道にて

横たわる女の脇腹の生毛を軽く剃りおとす、そこに真赤に焼けた烙印をおしあてる。夜になればその紋草がひりひり燃えあがるとなると、それは大したスペクタクルである。女の名前は六甲山、闇に浮かぶ鮮かな御紋章は神戸市章と並んで錨のマーク。「さすがヤクザなマドロスの町、山にまでボ・パイの入れ墨が彫ってある」そう言つたのはこの夏やつてきた友人、良識派のパリジャンだった。

その山肌のケロイド症状を見るために、彼岸の中日、再度山ドライブウェイの脇道をよじ登つた。

歩かなければ人は山には入れないみたいだ。空をさえぎる緑の影に包まれてこそ人は山と関係することができない。したがつて、山の縁をきり裂いてできたドライブウェイの上では、人は車で山をただ単に登るだけなのである。尾根伝いに登つてゆくと、雑木林の黒々とした足並み

みを透かして白々しい光の群が射し込んでくる。谷底には追谷墓地の墓石がびっしりと群がっている。その墓地には数日前、花束をかかえてでかけ、少しばかり生前の祖母の表情を思いだし、谷底から空を見上げて煙草をふかして一服墓前にもそなえたところだった。めざすネオノ仕掛けはその真上あたりにあるらしい。

息を切らせてようやく辿り着いたそのあたりには、鉄塔と金網が見えるばかり。しかたなく振り向くと、シリキーな空気のベールに包まれて星下がりのぼかんとした港町が視界いっぱいに拡がつていた。

そこからさらにドライブウェイに反目しながら、昔からの山道を潜り抜け、時々アベックの白々しい視線を浴びた。森の不気味な静寂の中では白いもの、たとえば墓石や紙屑、そしてたまたまアベックがのぞかせるパンティーなどが、大自然に虐殺されそうなぼくの不安を鎮めてくれる。

だが、この奇妙な感覚は何だろう。始めて歩く山道だと思つていたら、すでにいつか見たことのある情景ばかりが現われてくるみたいだ。少年の頃、ぼくは父に連れられてこの道を歩いたのだろうか。山の中でも、しだいに時間感覚を喪失し、不定形な緑の空間の中を漂いながら、時々木立ちの切れ間に港の風景を見つけては自分の位置を知る。

二本松林道に入るあたりからは海も見えなくなり、ぼくはすべての風景を見失なつてゐる。森の中には風景は





錦山にて筆者

ない。山が人の前で風景でありうるためには距離といふものが必要であるが、緑に紛れて山の中にはいるぼくは、山そのものであり、風景の背後に存在しているみたいだ。

風景ばかりではなく、時間の流れからもはずれてしまい、少年時代の記憶の中を歩いているのかもしれない。

みる。何をなくしたのかさえ思い出せない空虚感こそが、実は、少年期と現在の自分の間に横たわる時間というものだと思う。

大師道と呼び親しまれている登山道に沿って、狸々池の貯水も下ってゆく。昔、花隅が村であったころの用水路がこの小川だ。

時間感覚も方向感覚も溶かしてしまった六甲の森の魔術からようやく解き放たれて、再び街の風景に出会う寸前ぼくはあっと驚いて足を止ませる。谷底の小川の中にもう一人の自分がいるではないか。川底をじやぶじやぶと裸足で歩きながら、少年が大きな沢ガニをつかまえていた。あの時と何も変わらない。大きなクリの木の下で、ぼくはあの時黒い沢ガニを三四つかまえた。

ぼくは少年に声をかけてみた。少年が上を見上げて、ぼくが三十四才の男であることを教えてくれた。



“神戸いのちの電話”

橋本 明（社団法人家庭養護促進協会事務局長）



る活動である。

諸外国ではすでに二十年以上も前から始められ、イギリスでは一九五三年に「ザ・サマリタンズ（よき隣人）」と呼ばれる組織がロンドンに設立されている。オーストラリアではライフ・ライン（いのちの綱）、ドイツではテレフォン・ゼールゾルゲ（牧会電話）などとも呼ばれ、アメリカでは二百以上の都市で、自殺予防のための電話による相談活動が続けられている。

この他、フランス、台湾、スエーデン、ポーランド、オランダ、南アフリカ、香港、イスラム、韓国、東欧諸国

今年の六月二十日に
西神戸Y.M.C.A（長田
区水笠通一丁目一の三
三）内に、日本で十一

番めの「神戸いのちの
電話」（（078）64
2-3300）が発足
した。「いのちの電話」
といつても何のことか
わからない人も多いだ
ろうが、これは、さま
ざまな心の悩みをもつ
人の相談に電話で応じ

を含む四〇カ国にも広
がり、国際電話救急連
盟（本部ジュネーブ）
が組織されている。

日本では一九七一年
十月に「東京いのちの
電話」が設立され、一
年間に三二、〇〇件
もの電話相談を受けて
おり、その後次々と左
記の都市に設けられて
きた。

| | |
|-----------|-----------------|
| 東京いのちの電話 | (03) 264-4343 |
| 関西いのちの電話 | (06) 309-1121 |
| 沖縄いのちの電話 | (0988) 68-8016 |
| 北海道いのちの電話 | (093) 581-4343 |
| 北九州いのちの電話 | (093) 581-4343 |
| 奈良いのちの電話 | (0742) 351-1000 |
| 横浜いのちの電話 | (045) 323-2112 |
| 栃木いのちの電話 | (0286) 35-7830 |
| 旭川いのちの電話 | (0166) 23-4343 |

神戸いのちの電話 (078) 642-3300

さらに、

京都いのちの電話

(075) 255-4343

が来春の開設をめざして準備中である。

また、外国人専用のいのちの電話として、

TOKYO ENGLISH LIFE LINE

(03) 264-4347

がある。そして四年前に全国的な相互連絡と協力のために「日本いのちの電話連盟」が結成されている。

さて、発足して三ヶ月経った九月下旬に西神戸YMC Aにある「神戸いのちの電話」の事務所を訪れてみた。

この三ヶ月間は日曜、祭日を除く毎日、午前十一時半から午後六時半まで、ボランティアが二人ずつ二本の電話で相談に応じている。三ヶ月間に約九五〇件もの相談を受けたが、もう一本の留守番電話にはその四倍もの受信が記録されており、全部あわせれば五〇〇〇件ほどの電話がかかってきたことになる。



相談を受けるボランティア

一回四時間で二交替という今までの受付態勢では、一日に二〇件の相談を受けるのが限度だったが、九月に電話相談員第II期生の養成が終り、十月からは午前八時から午後六時半までと、受付時間をのばし、九〇名のボランティアが相談に応じることになっている。

ところで、相談の内容は、人生、家族、夫婦、男女、

人間関係、医療、セックス、法律経済、教育、政治社会情報、など多岐多様にわたっており、かけてくる人の年令も小学生から老人まであらゆる年令層にわたっている。

最年少は六歳の小学生一年生。「友だちができない、いじめられる、親がこわい」という相談が六歳児から九件あり、すべて女の子ばかり。最高齢者は八十七才の老人男性。配偶者を亡くした淋しさを電話で訴えてきた。

夏休みには高校生や大学生からのセックスについての相談が急増した。なかでも母子相姦、つまり母親と息子との肉体関係についての悩みも多く、異常な性のゆがみに相談員たちもショックを受けたという。

現在はまだ直接相談はやっていないので、電話だけの応対では不十分な場合、また生命の危険が予知されるような場合は、それぞれのケースに応じて専門機関や精神科医などに紹介し、より望ましい解決をはかるようにしている。「いのちの電話」の役割は、精神的な危機に直面している人たちに援助の手を差しのべるだけでなく、同じ地域に住む人たちが、他人の苦痛から目をそらすことなく、良き隣人として助け合って生きていく「市民運動」にまで人々の心の輪をひろげていくことにある。ロンドンのいのちの電話活動は二万人ものボランティアによって支えられているという。神戸いのちの電話も、この秋から第四期生の相談員の養成に入っている。多くの人たちが関心を寄せ、いろんな形で支えてほしい。

問い合わせは

神戸いのちの電話センター

〒六五三神戸市長田区水笠通一一一三三
事務局 TEL (078) 642-4317

都市計画の充実で 新しい街の魅力を

洋画家 石阪春生



古い兵庫のイメージの残るれんが造の建物（株式会社石川本社）

戦前の兵庫界隈
私の記憶の中に残つてゐる戦前の兵庫のイメージは明るく、そのくせ古い街の臭いをもつた味わいの深い土地であった。特に本町筋はメインストリートとして立派な商家が建ち並んでおり、私の好きな通りだった。

横には西宮内、たてには新開地が交差しており、西宮内、たてには西宮内、たてには新開地が交差しており、西

★懐き思い出に彩られる
戦前の兵庫界隈
私の記憶の中に残つてゐる戦前の兵庫のイメージは明るく、そのくせ古い街の臭いをもつた味わいの深い土地であった。特に本町筋はメインストリートとして立派な商家が建ち並んでおり、私の好きな通りだった。

横には西宮内、たてには新開地が交差しており、西

宮内は今でいえば市場とターミナルセンターを備えた活気のある通り、新開地は聚楽館に代表されるアミューズメントセンターとショッピングセンターとして賑わっていた。

この界隈の当時の佇いについては様々な伝説が残つており、竹中郁さんなども詳しく書き残しているが、間屋筋など由緒のある名前が残っているように、當時としては非常にグレードの高い店舗の集まつた繁華街であると同時に、古い文化の町でもあった。

私が生まれ育つたこの兵庫の町も疎開をはさんで昭和25年に戻つてみると、ほとんど原型をと

現の兵庫の町が活力をなくしてダウンタウン化しているのは、足の便の悪さにも原因がある。私の住んでいる永沢町のあたりはまだ高速鉄道が走っていて便利だが、ハイウェイの南側は地下鉄も市電もなく、交通機関としてはバスしかない。街の中央の一帯幅の広い所に鉄道がない。

それと同時にハイウェイが街を北と南に分断している。北側はまだ活気があるが、南側にくと街の顔にならなくなっている。もう少し南側の海岸線をハイウェイが走つていれば、また

が、南側にくと街の顔にならなくなっている。神戸に住む人が「神戸にもこんな所があつたのか」と感想をもらすほどだ。そんな時には「神戸はここからできたんやで」と言つてやるが、少々ショ

どめぬよう今まで破壊されてきた。帰ってきた当時はもう少し復興するだろうとかつての兵庫の繁栄は戻らず衰弱してきたのは非常に残念に思つている。

★ハイウェイで分断された兵庫の北と南

かねてつ

バラエティ豊かな味づくりで
おいしさを楽しむ食卓づくり.....

味づくりに生きる

安政2年創業
日持ちのする
豆 豆納豆
甘納豆 つゆせなし
甘納豆 岡田屋

本社 神戸福原口 ☎(575) 5536
直売店 神戸さんちかスイーツタウン
各百貨店・大阪梅田三番街・大阪、羽田
国際空港・阪急百貨店銘菓街・新大阪ステーションストア

慶びの家具

江戸居

神戸市兵庫区塚本通2丁目1番1号
永沢町交差点 ☎078-575-3120
東店 ☎078-576-0054
毎週金曜日定休日

お好み焼

美丁 Yoshicho

福原店比羅宮西入ル ☎575-7913
平日・PM3～PM10：30
金土日・AM11：30～PM10：30
水曜日定休日

ツクである。

永沢町、会下山、上沢といつた町はむしろ新兵庫というべきで、南側の和田岬吉田町あたりが本当の兵庫

だった。私の家は元来、南の方で粉屋を営んでいて祖父の代で現在の場所へ移つたのだが、その時分は「石阪さんは野に行つた」などと言われたくらいである。

★兵庫をさらの街に

都市計画による復興を

結局のところ、玄関口から遠くなつて街づくりが遅れているのだが、神戸の北部やポートアイランドの開発の華やかさを見るにつけても、兵庫もっと力を入れて再開発されるべきだと思う。

かつての新開地・福原の幻想にとらわれるのでなく

兵庫は住宅街へと転換していくことが先決だというの私が考えた。商業回復は一挙にはできない。

行政と市民が一致協力し

て都市計画の力で新しい街づくりを進めるべきだ。人が多く集まることが活力を生みだす筈だし、住居地として考えると気候・風土とも昔の人が開発して住みつけただけに素晴らしいものが

ある。神戸は山と海だけの狭い土地のようだが、和田岬のあたりから見ると山が遠くで神戸も広いなと感じさせられる。平地として面積がこれだけあるのは兵庫くらいだし、治水・地盤とも申し分ない。かつての大水害の折にも溝の水が少し濁つたくらいで、親たちも

このへんは絶対に水には漬かないないと自信を持つていい。そういう話を伝え聞いた。そもそも住みよい場所がよくわかる。

山を切り開くのに比べて古い街をいじるのは難しいことであろうが、それをあえて作りかえない限り自然回復はありえない。海岸ぞいに地下鉄、高層化した集団住宅、広場などを建設し

て新しい兵庫のイメージをつくりあげる必要がある。今の兵庫は戦後の焼跡に入ってきた人たちでできた町だが、30年たつてようやくコミュニケーションが行き交って街になってきたといえる。その意味では、町の将来はこれからではないだろうか。

△文責／編集部



● 世界の洋酒が楽しめる

北野商店

高速新開地駅を降りて、北側へ3分ほど歩くと、左手に5階建の瀧酒など

北野正博専務は「ただ

輸入洋酒のディスカウント販売をいち早く手がけている。

年に4、5回は新着ワインの試飲会なども催され、ワインの品ぞろえに



結婚式は

神戸 平安閣

☎(078) 351-3390
高速新開地駅東へ200m



カステラは1番・電話は2番(575局)

文明堂のカステラ

文明堂神戸店

ポートピア81「ジャイアント」
パン饅頭
六甲峰

株式会社 兵庫するが丘

サンこうべ店・淡川店
本店/市バス柳原停前 ☎576-0790

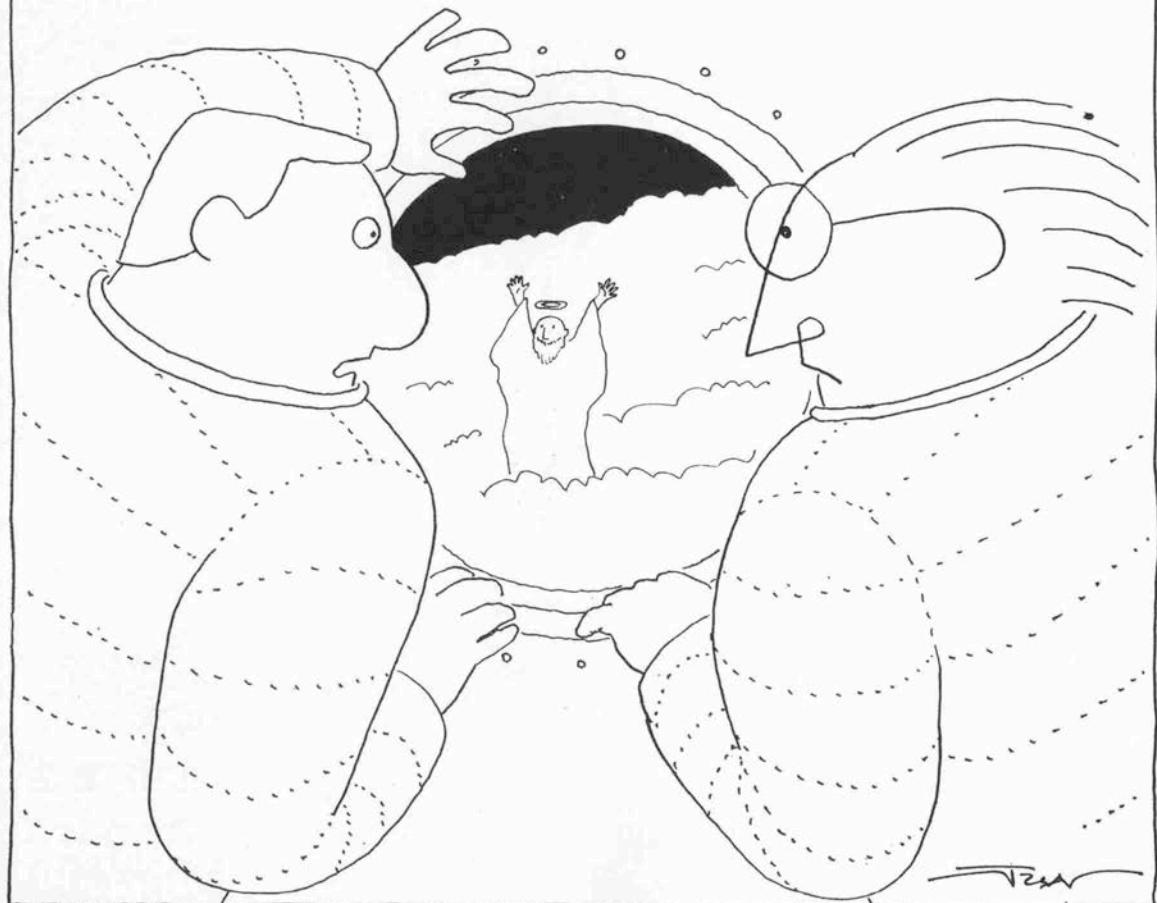


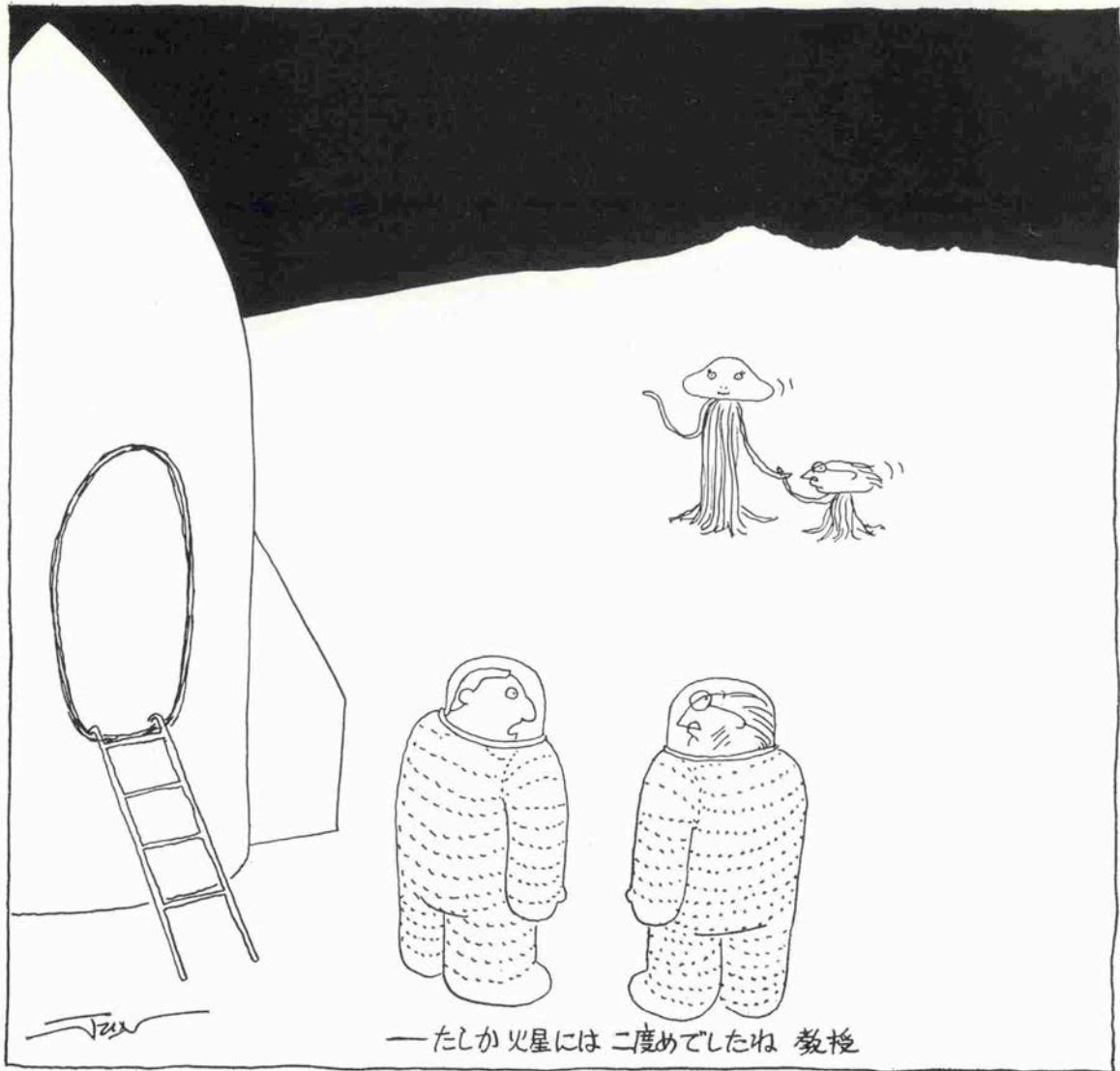
世界の洋酒
世界のワインが
楽しめる

北野商店

本店 兵庫区中道通1丁目4-31
TEL (078) 577-1181~3
山の街店 TEL (078) 581-2377
名谷店 TEL (078) 791-7171~2

——どうも私には ここが土屋だとは
おもえないのですが……





ことのためのミュージカル。作／多田徹、演出／ふるかわ照、出演／木友留美子、白木原麻紀、祐樹あい

一栗大、森もりこほか

烈婦連

11月14日(土) 6時 芥屋ルナ大ホール
大人2000円(前売1500円) 中高生1200円(前売1000円)

平塚らいてうたちをモデルに、明治から大正にかけての「新しい女性」を描く。脚色／柴田宣一、出演／乾奈津子、持留さよ子ほか。

音楽

★都はるみ

4日(水) ①2時 ②6時半 神戸国際会館 民音／会員・280円

★高中正義

5日(木) 6時半 神戸文化大ホール A・2600円 B・230円

★芦屋交響楽団

7日(土) 6時半 神戸文化大ホール A・2800円 B・2400円

★阿川泰子

10日(火) 6時半 神戸国際会館 A・2800円 B・2000円

★因幡晃

11日(水) 6時半 神戸文化大ホール 民音／会員・2600円

★谷山浩子・春風亭小朝

20日(金) 6時半 神戸文化大ホール A・2300円 B・200円

★中田実郎ピアノコンサート

25日(水) 6時半 神戸文化大ホール S・0円

古典芸能

★第八回五流能

1月16日(土) ①10時 ②3時 神戸文化中ホール 1階席・400円 2階席・300円

能樂には五流儀あるが、全流が一堂に集まつて演能をすることは珍らしい。

神戸で毎年1月に五流能を開催していく。今年で8回目を迎える。全国的にみて指折りの催しとして、ファン

★伊藤ルミ、ピアノ・リサイタル
12月1日(火) 7時 神戸文化中ホール 2000円

★「ペニスに死す」
12月1日(木) 13日(金) 6時半
14日(土) 2時 神戸文化小ホール
会員・499円

★第2回筒井康隆劇場
「三月ウサギ」
7日(土) 6時半 時 神戸文化中ホール
12月1日(木) 6時半 神戸文化中ホール
13日(金) ① 時 神戸文化中ホール
14日(土) 2時 神戸文化中ホール
会員・499円

★阿川泰子

10日(火) 6時半 神戸国際会館 A・2800円 B・2000円

★因幡晃

11日(水) 6時半 神戸文化大ホール 民音／会員・2600円

★谷山浩子・春風亭小朝

20日(金) 6時半 神戸文化大ホール A・2300円 B・200円

★中田実郎ピアノコンサート

25日(水) 6時半 神戸文化大ホール S・0円

にとつてもうれしい企画。第一部／能「竹生島」喜多長世、能「雪」金剛徹、狂言「臥取相撲」善竹忠一郎、能「葵上」觀世元正 第二部／能「花月」辰巳孝、能「羽衣」金春信高、狂言「居杭」茂山千作、能「船弁慶」觀世錦之丞

作、能「船弁慶」觀世錦之丞

1月16日(土) ①10時 ②3時 神戸文化中ホール 1階席・400円 2階席・300円

能樂には五流儀あるが、全流が一堂に集まつて演能をすることは珍らしい。

神戸で毎年1月に五流能を開催していく。今年で8回目を迎える。全国的にみて指折りの催しとして、ファン

烈婦連

11月14日(土) 6時 芥屋ルナ大ホール
大人2000円(前売1500円) 中高生1200円(前売1000円)

平塚らいてうたちをモデルに、明治から大正にかけての「新しい女性」を描く。脚色／柴田宣一、出演／乾奈津子、持留さよ子ほか。

音楽

★都はるみ

4日(水) ①2時 ②6時半 神戸国際会館 民音／会員・280円

★高中正義

5日(木) 6時半 神戸文化大ホール A・2600円 B・230円

★芦屋交響楽団

7日(土) 6時半 神戸文化大ホール A・2800円 B・2400円

★阿川泰子

10日(火) 6時半 神戸国際会館 A・2800円 B・2000円

★因幡晃

11日(水) 6時半 神戸文化大ホール 民音／会員・2600円

★谷山浩子・春風亭小朝

20日(金) 6時半 神戸文化大ホール A・2300円 B・200円

★中田実郎ピアノコンサート

25日(水) 6時半 神戸文化大ホール S・0円

応募要項が決定した。
種目／平面立体を問わず現代的な造形作品(絵画・彫刻・工芸のすべてを含む)
賞金／エンバ賞(大賞)1点3000円、優秀賞4点50万円
審査員／小倉忠夫、河北倫明、木村重信、中原佑介、針生一郎
参加費／1点につき2000円
応募方法／返信用封筒(23×4cm×12cm)に70円切手貼付を同封の上、応募カードを事務局に搬入受付(京阪神地区・11月22日～23日、その他の地区・11月18日～23日)お問合せ／〒659芦屋市奥池町12-1「エンバ中国近代美術館」内ジャパン・エンバ美術コンクール事務局0797-38-0021

古典芸能

1月16日(土) ①10時 ②3時 神戸文化中ホール 1階席・400円 2階席・300円

能樂には五流儀あるが、全流が一堂に集まつて演能をすることは珍らしい。

神戸で毎年1月に五流能を開催していく。今年で8回目を迎える。全国的にみて指折りの催しとして、ファン

烈婦連

11月14日(土) 6時 芥屋ルナ大ホール
大人2000円(前売1500円) 中高生1200円(前売1000円)

平塚らいてうたちをモデルに、明治から大正にかけての「新しい女性」を描く。脚色／柴田宣一、出演／乾奈津子、持留さよ子ほか。

音楽

★都はるみ

4日(水) ①2時 ②6時半 神戸国際会館 民音／会員・280円

★高中正義

5日(木) 6時半 神戸文化大ホール A・2600円 B・230円

★芦屋交響楽団

7日(土) 6時半 神戸文化大ホール A・2800円 B・2400円

★阿川泰子

10日(火) 6時半 神戸国際会館 A・2800円 B・2000円

★因幡晃

11日(水) 6時半 神戸文化大ホール 民音／会員・2600円

★谷山浩子・春風亭小朝

20日(金) 6時半 神戸文化大ホール A・2300円 B・200円

★中田実郎ピアノコンサート

25日(水) 6時半 神戸文化大ホール S・0円

古典芸能

★第八回五流能

1月16日(土) ①10時 ②3時 神戸文化中ホール 1階席・400円 2階席・300円

能樂には五流儀あるが、全流が一堂に集まつて演能をすることは珍らしい。

神戸で毎年1月に五流能を開催していく。今年で8回目を迎える。全国的にみて指折りの催しとして、ファン

烈婦連

11月14日(土) 6時 芥屋ルナ大ホール
大人2000円(前売1500円) 中高生1200円(前売1000円)

平塚らいてうたちをモデルに、明治から大正にかけての「新しい女性」を描く。脚色／柴田宣一、出演／乾奈津子、持留さよ子ほか。

音楽

★都はるみ

4日(水) ①2時 ②6時半 神戸国際会館 民音／会員・280円

★高中正義

5日(木) 6時半 神戸文化大ホール A・2600円 B・230円

★芦屋交響楽団

7日(土) 6時半 神戸文化大ホール A・2800円 B・2400円

★阿川泰子

10日(火) 6時半 神戸国際会館 A・2800円 B・2000円

★因幡晃

21日(水) 6時半 神戸文化大ホール 民音／会員・2600円

★谷山浩子・春風亭小朝

20日(金) 6時半 神戸文化大ホール A・2300円 B・200円

★中田実郎ピアノコンサート

25日(水) 6時半 神戸文化大ホール S・0円

古典芸能

★第八回五流能

1月16日(土) ①10時 ②3時 神戸文化中ホール 1階席・400円 2階席・300円

能樂には五流儀あるが、全流が一堂に集まつて演能をすることは珍らしい。

神戸で毎年1月に五流能を開催していく。今年で8回目を迎える。全国的にみて指折りの催しとして、ファン

烈婦連

11月14日(土) 6時 芥屋ルナ大ホール
大人2000円(前売1500円) 中高生1200円(前売1000円)

平塚らいてうたちをモデルに、明治から大正にかけての「新しい女性」を描く。脚色／柴田宣一、出演／乾奈津子、持留さよ子ほか。

音楽

★都はるみ

4日(水) ①2時 ②6時半 神戸国際会館 民音／会員・280円

★高中正義

5日(木) 6時半 神戸文化大ホール A・2600円 B・230円

★芦屋交響楽団

7日(土) 6時半 神戸文化大ホール A・2800円 B・2400円

★阿川泰子

10日(火) 6時半 神戸国際会館 A・2800円 B・2000円

★因幡晃

21日(水) 6時半 神戸文化大ホール 民音／会員・2600円

★谷山浩子・春風亭小朝

20日(金) 6時半 神戸文化大ホール A・2300円 B・200円

★中田実郎ピアノコンサート

25日(水) 6時半 神戸文化大ホール S・0円

古典芸能

★第八回五流能

1月16日(土) ①10時 ②3時 神戸文化中ホール 1階席・400円 2階席・300円

能樂には五流儀あるが、全流が一堂に集まつて演能をすることは珍らしい。

神戸で毎年1月に五流能を開催していく。今年で8回目を迎える。全国的にみて指折りの催しとして、ファン

烈婦連

11月14日(土) 6時 芥屋ルナ大ホール
大人2000円(前売1500円) 中高生1200円(前売1000円)

平塚らいてうたちをモデルに、明治から大正にかけての「新しい女性」を描く。脚色／柴田宣一、出演／乾奈津子、持留さよ子ほか。

音楽

★都はるみ

4日(水) ①2時 ②6時半 神戸国際会館 民音／会員・280円

★高中正義

5日(木) 6時半 神戸文化大ホール A・2600円 B・230円

★芦屋交響楽団

7日(土) 6時半 神戸文化大ホール A・2800円 B・2400円

★阿川泰子

10日(火) 6時半 神戸国際会館 A・2800円 B・2000円

★因幡晃

21日(水) 6時半 神戸文化大ホール 民音／会員・2600円

★谷山浩子・春風亭小朝

20日(金) 6時半 神戸文化大ホール A・2300円 B・200円

★中田実郎ピアノコンサート

25日(水) 6時半 神戸文化大ホール S・0円

古典芸能

★第八回五流能

1月16日(土) ①10時 ②3時 神戸文化中ホール 1階席・400円 2階席・300円

能樂には五流儀あるが、全流が一堂に集まつて演能をすることは珍らしい。

神戸で毎年1月に五流能を開催していく。今年で8回目を迎える。全国的にみて指折りの催しとして、ファン

烈婦連

11月14日(土) 6時 芥屋ルナ大ホール
大人2000円(前売1500円) 中高生1200円(前売1000円)

平塚らいてうたちをモデルに、明治から大正にかけての「新しい女性」を描く。脚色／柴田宣一、出演／乾奈津子、持留さよ子ほか。

音楽

★都はるみ

4日(水) ①2時 ②6時半 神戸国際会館 民音／会員・280円

★高中正義

5日(木) 6時半 神戸文化大ホール A・2600円 B・230円

★芦屋交響楽団

7日(土) 6時半 神戸文化大ホール A・2800円 B・2400円

★阿川泰子

10日(火) 6時半 神戸国際会館 A・2800円 B・2000円

★因幡晃

21日(水) 6時半 神戸文化大ホール 民音／会員・2600円

★谷山浩子・春風亭小朝

20日(金) 6時半 神戸文化大ホール A・2300円 B・200円

★中田実郎ピアノコンサート

25日(水) 6時半 神戸文化大ホール S・0円

古典芸能

★第八回五流能

1月16日(土) ①10時 ②3時 神戸文化中ホール 1階席・400円 2階席・300円

能樂には五流儀あるが、全流が一堂に集まつて演能をすることは珍らしい。

神戸で毎年1月に五流能を開催していく。今年で8回目を迎える。全国的にみて指折りの催しとして、ファン

烈婦連

11日(水) 6時半 神戸文化大ホール
大人2000円(前売1500円) 中高生1200円(前売1000円)

平塚らいてうたちをモデルに、明治から大正にかけての「新しい女性」を描く。脚色／柴田宣一、出演／乾奈津子、持留さよ子ほか。

音楽

★都はるみ

4日(水) ①2時 ②6時半 神戸国際会館 民音／会員・280円

★高中正義

5日(木) 6時半 神戸文化大ホール A・2600円 B・230円

★芦屋交響楽団

7日(土) 6時半 神戸文化大ホール A・2800円 B・2400円

★阿川泰子

10日(火) 6時半 神戸国際会館 A・2800円 B・2000円

★因幡晃

21日(水) 6時半 神戸文化大ホール 民音／会員・2600円

★谷山浩子・春風亭小朝

20日(金) 6時半 神戸文化大ホール A・2300円 B・200円

★中田実郎ピアノコンサート

25日(水) 6時半 神戸文化大ホール S・0円

古典芸能

★第八回五流能

1月16日(土) ①10時 ②3時 神戸文化中ホール 1階席・400円 2階席・300円

能樂には五流儀あるが、全流が一堂に集まつて演能をすることは珍らしい。

神戸で毎年1月に五流能を開催していく。今年で8回目を迎える。全国的にみて指折りの催しとして、ファン

烈婦連

11日(水) 6時半 神戸文化大ホール
大人2000円(前売1500円) 中高生1200円(前売1000円)

平塚らいてうたちをモデルに、明治から大正にかけての「新しい女性」を描く。脚色／柴田宣一、出演／乾奈津子、持留さよ子ほか。

音楽

★都はるみ

4日(水) ①2時 ②6時半 神戸国際会館 民音／会員・280円

★高中正義

5日(木) 6時半 神戸文化大ホール A・2600円 B・230円

★芦屋交響楽団

7日(土) 6時半 神戸文化大ホール A・2800円 B・2400円

★阿川泰子

10日(火) 6時半 神戸国際会館 A・2800円 B・2000円

★因幡晃

21日(水) 6時半 神戸文化大ホール 民音／会員・2600円